

歴博をあるく

歴博と佐倉連隊

広報部会

歴博がある佐倉城址には長く軍隊が駐屯

明治7年、日本最初の軍隊、歩兵第二連隊が、佐倉に駐屯し多くの部隊が編成され、西南戦争、日清・日露戦争にこの地から出征した。明治42年には、第二連隊にかわって歩兵第五十七連隊が駐屯し、昭和19年のフィリピン戦に赴き多くの命が失われ、連隊は壊滅した。

ここでは、城址公園に散在する当時の軍隊の遺構を紹介しします。遺構の場所はあちこちに立っている案内看板で容易に分かります。歴博第六室の佐倉連隊の展示観覧とともに、城址を散策いただき当時を振り返ってみるのはいかがでしょうか。

城址公園にのこる軍隊の遺構

以下に、実際に現物が遺構として残っているものに関して、写真と看板にある説明を引用して紹介します。記号は下記（軍隊の遺構）記載記号。

③兵営のトイレ跡

雨天休憩所近くに土台のみ残る。江原新田では連隊と契約し下肥・馬糞の払い下げを受け、汚物掃除を担当していた。



⑩兵士が文字を彫り込んだモッコクの木

本丸跡にある県指定天然記念物。幹に「昭和十八年十月」胞隊」の落書きが彫られている。(丸囲い部)



⑤佐倉兵営跡の碑

碑の前にある歩兵第二連隊佐倉兵舎全図と右後ろにある佐倉兵営跡の碑が



ある。碑の題字は連隊長を務めた今村均陸軍大将の書。



⑨訓練用の12階段

兵士が高所からの飛び下り訓練用に使用した階段。木製と違い、壊すのが大変なため、戦後も残ったと考えられる。(幅2m、高さ3m/目測)

①軍犬・軍馬の墓

軍犬房号之墓（昭和7年）、軍馬北盤之墓（昭和18年）が並んで立つ。連隊の敷地内には、犬舎・厩舎・鳩舎があった。



④から⑩まで、ほぼ1時間の散策でした。



軍隊の遺構（9箇所）	
④衛兵所跡	③兵営のトイレ跡
③佐倉陸軍病院跡	⑩兵士が文字を彫り込んだモッコク
⑤車道の碑	⑤佐倉兵営跡の碑
⑥弾薬庫の跡	⑨訓練用の12階段（跳下台）
①軍犬・軍馬の墓	